

# 「中国・アジア」ダイジェスト

2014.10.13-10.24

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

10月13日（月）

日本ゼオン、中国に生産委託  
化合物代替洗浄剤 / 年300ト

日本ゼオンは、環境対応型の洗浄剤などに使うフッ素系化合物の生産地を高岡工場から原料の主要産地である中国に移管した。化合物代替洗浄剤など。年間で300トの販売を目指す。（12面）

10月15日（水）

フォード、9月中国新車横ばい  
9万5875台

米フォード・モーターは、9月の中国での新車販売台数が前年同月とほぼ同じ9万5875台だった。1 9月の累計台数は前年同期比26%増の81万3412台となった。（時事＝7面）

三菱商事、豪州で新炭鉱を開山  
年550万ト / 日中印向け

三菱商事は、BHPピリトンと折半出資する豪州原料炭事業で新たな炭鉱での生産を開始した。総事業費は約3600億円。年間550万ト。主に日本、中国、インド向けに輸出する。（20面）

10月16日（木）

青山製作所、中国など増強  
車のボルト・ナット / 米国工場も

青山製作所は、海外で自動車向けボルト・ナットの生産能力を増強する。中国やタイの工場も増強。拡張中の米国工場は2015年秋をめどに年産能力を175トから195トに引き上げる。（3面）

10月17日（金）

上海汽車、新車8%増  
9月販売 / 49万2529台

上海汽車集団は、9月の新車販売台数は前年同月比8.3%増の49万2529台。部門別では自主ブランド「荣威」「MG」を扱う上汽乘用车は15.3%減の1万1528台と大きく落ち込んだ。（5面）



自動車メーカーの中国新車販売	
	9月
日産	93,700(▼20.0)
トヨタ	91,100(▼26.1)
ホンダ	56,880(▼23.1)
スズキ	19,474(▼2.6)
マツダ	18,818(▼5.6)
三菱自	7,524(▼24.5)
富士重	4,401(▼17.2)
単位台、カッコ内は前年同月比増減率%、▼はマイナス	

中国新車、日系3社2ケタ減  
9月販売 / 日系7社

日系自動車メーカー7社の9月の中国での新車販売は、日産自動車とホンダなど3社が2ケタ減少する一方、トヨタ自動車など4社が増加。商用車の落ち込みが続き減速感が強まっている。（5面）

独ZF、北京汽車と合併  
車用シャーシ / 開発・組み立て

独ZFは、北京汽車集団と合併で、乘用车用シャーシシステムの開発と組み立てを行う新会社を北京経済技術開発区に設立する。リアおよびフロントのシャーシモジュールを組み立て。（5面）

米テスラ、充電スタンド400基  
中国20都市 / 住宅地が中心

米テスラ・モーターズは、中国民生銀行と組んで、中国20都市に充電スタンド400基を設置する。設置場所は住宅地が中心。EVを年内に5000台の販売を目指している。（5面）

三菱電機、昇降機50万台達成  
可変速式など最新機器を投入

三菱電機は、中国で昇降機事業を担う関連会社「上海三菱電梯」の累計出荷が50万台を達成した。永久磁石式モーター搭載のギアレス巻き上げ機や可変速エレベーターなど最新機器を投入。（9面）

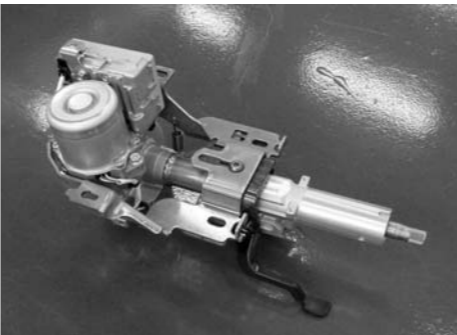
10月20日（月）

日産、大連工場が稼働  
SUV年30万台

日産自動車は、中国・東風日産乘用车の大連工場で車両生産を始めた。50億円（約850億円）投資。スポーツ多目的車（SUV）の生産で将来は年30万台まで拡大。（7面）

日本精工、中国・タイ・米で増産  
電動パワステ / 910万台

日本精工は、2015年度に電動パワステアリング（EPS）の生産量を前年度比約7%増の910万台程度に増産する。



中国、タイ、米国の生産拠点でラインを増設する計画。（7面）

江淮汽車、9月54%減  
1 9月57%減、3万8573台

中国の中堅自動車メーカー・安徽江淮汽車は、9月の乘用车販売は前年同月比54%減の3459台だった。1 9月合計も前年同期比57%減の3万8573台。民族系ブランドの販売不振などが要因。（7面）

10月21日（火）

長安汽車、消費者向けEV  
家庭用電源で充電 / 180キロ時速走行

中国自動車大手の長安汽車は、電気自動車（EV）を年末をめどに一般消費者向けに売り出す。家庭用の電源で充電でき、1回の充電で約180キロを走行。北京でタクシーに使用。（5面）

「10元ショップ」あちこちに  
所得水準の向上で割安感

中国でも100円ショップならぬ「10元ショップ」の店舗が広い国土で展開されつつある。所得水準の向上で割安感が増し、面白くて便利な日用品を購入する余裕も出てきたようだ。（19面）

10月22日（水）

高性能プロペラの製販権供与  
三菱重工 / 中海船舶螺旋桨向け

三菱重工業は、子会社の三菱重工船用機械エンジンが中国の民営船用プロペラメーカーの常州市中海船舶螺旋桨（CZH）に船用高性能プロペラの製造、販売権を供与する。（3面）

大容量光海底ケーブル延伸受注  
NEC / 香港・タイ

NECは、建設が進むアジアから中

東、アフリカを経由し欧州を結ぶ大容量光海底ケーブル「AAE 1」に接続し、香港からタイを結ぶ海底ケーブル延伸をコンソーシアムから受注。（9面）

日立金属、中国増産1.5倍  
ピストンリング材 / エンジン用

日立金属は、自動車エンジンのピストンリング向けのステンレス鋼ピストンリング材を中国で増産する。圧延設備などを追加で整備、1.5倍に引き上げる。投資額は約5億 6億円。（11面）



中国・インド、エネ需要7割圧縮  
成長鈍化 / 省エネ進展

2040年までの中国とインドの低成長シナリオを予測、両国のエネルギー需要の増加が最大7割圧縮される試算。経済成長が想定より鈍化、省エネが進展。日本エネルギー経済研究所まとめ。（12面）

10月23日（木）

三井造船、Li電池正極材撤退  
中国メーカー台頭 / 値崩れ

三井造船は、リチウムイオン電池用正極材から撤退する。戸田工業との新会社が生産工場を完成したばかり。だが、中国メーカーの台頭で値崩れが進み、顧客開拓も進まなかった。（1面）

上海汽車からEVなど1000台  
中国レンタカー大手・一嗨租車

中国レンタカー大手・一嗨租車は、自動車大手・上海汽車と、自主ブランド次世代エコカー1000台の購入契約。セダンタイプPHVと軽乘用车タイプEV。上海市の店舗を中心に配備。（5面）

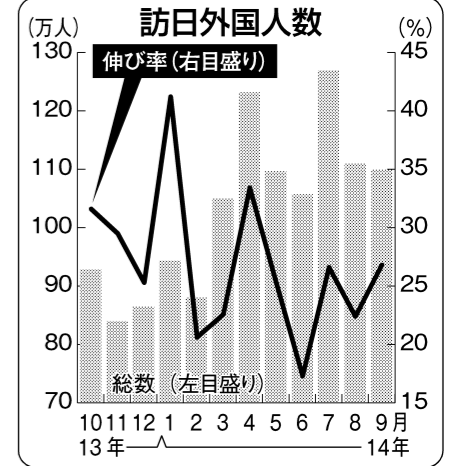
自動車販売、4.6%増に減速  
2300万台なら問題ない

今年の中国自動車販売は前年比4.6%

増に減速、8.3%増予想には届かない見通し。工業協会の幹部の話としてブルームバーグが報じた。幹部は「2300万台に達すれば問題ない」。（時事＝5面）

訪日外国人、9月の最高更新  
中国24.6万人 / 3カ月連続トップ

9月の訪日外国人は、前年同月比26.8%増の109万9100人。9月半月の最高を記録。中国は57.6%増の24万6100人となり、3カ月連続でトップ。1 9月の累計は26%増の973万7000人。（14面）



10月24日（金）

ゴミのガス化、6機連続受注  
川重 / 日量200 300ト

川崎重工業は、中国でセメントプラントにゴミ焼却炉を併設してゴミをガス化するシステムを6機連続で受注した。石炭や二酸化炭素排出量を削減できる。1日の処理能力200 300ト。（3面）

蝶理、ウイグル自治区に事務所  
中央 / インフラ整備

蝶理は、中国・ウイグル自治区のウルムチ市に駐在員事務所を2015年1月に開設する。国内商社業界で初。中央アジアの国々に隣接する重要地域であり、今後のインフラ整備が見込まれる。（14面）

## TELOP

機内食ケータリング、香港と提携  
日本空港ビルデング（17日15面）

少額貸付会社、上海で開業  
SMBコンシューマーF（22日15面）

## ASIA

10月13日（月）

CAD、インドネシアで拡張  
三菱商事テクノス / ユニシスELと提携

三菱商事テクノスは、インドネシアでの3次元CAD/CAMシステムの販売で日本ユニシス・エクセルーションズと提携する。現地進出の日系金型メーカー向けに提案。（1面）

ベトナム新車販売65%増  
9月1万6149台

ベトナムの9月の同国新車販売台数が1万6149台だった。前年同月比で65%の大幅増加。乘用车は前月比30%増の1万511台。国内生産は16%増の1万1232台。自動車工会まとめ。（時事＝6面）

タイで取引先の新組織  
マルカキカイ / ASEAN積極化

マルカキカイは、機械専門商社としてタイで取引する生産設備関連の12社を集めた組織「タイMM会」を立ち上げた。ASEAN経済共同体の創設に備え、域内ビジネスを積極化。（7面）



エマス港（スマラン）が拡張工事を進めている。2015年半ばをめどに、港湾面積を3割増の30万平方メートルに。船が着岸するバースを2割長い600メートルに。（3面）

丸紅、ミャンマーで火力発電所  
出力200万kW

丸紅は、ミャンマー電力省と発電所の開発で覚書を結んだ。共同でミャンマー南部のタニンタリー管区メイ地区に出力180万 200万キロワットの石炭火力発電所を建設。ミャンマーとタイに供給。（20面）

10月16日（木）

途上国への資金支援で対立  
生物多様性会議 / 韓国・平昌

韓国・平昌で開催中の国連生物多様性条約第12回締約国会議（COP12）は、関係国会合が始まった。焦点となっている途上国への資金支援をめぐる、先進国と途上国の対立が続いた。（2面）

インドネシアに新倉庫  
山九 / 2万8629㎡

山九は、2月に稼働したインドネシアの物流施設「チカラ物流センター」を増床し、2016年1月稼働する。同じ敷地の中に新たに倉庫を建設。増床部分2万8629平方メートルで既存の約3倍。（14面）

10月17日（金）

インドネシアに最高層ビル  
清水建設 / 261.5m

清水建設は、インドネシアの複合企業アストラ・インターナショナルから同国の高さとなる超高層ビル建設工事を受注した。受注額は約180億円。地下6階、地上47階建てで261.5メートル（1面）

住友電工、タイで増産  
車用アルミ電線5倍

住友電気工業は、タイで自動車の大幅な軽量化につながるアルミニウム製電線の生産体制を2016年秋に増強する。鋳造圧延する設備を導入し、アルミ電線の生産能力も現在比5倍に高める。（5面）

10月15日（水）

インドネシア・エマス港を拡張  
港湾3割増 / 600mバース

インドネシアの主要港、タンジュン・

パナソニック、マレーシア拡大  
住宅事業 / ポリウムゾーン参入

パナソニックは、マレーシアの2018年度売上高を45%増の800億円に伸ばす方針だ。住宅事業を手がけるパナホームは富裕層向けマンションに加え、ポリウムゾーン向けにも参入。（9面）

10月20日（月）

社会課題解決を実証  
富士通とシンガポール

富士通とシンガポール科学技術庁、シンガポール・マネジメント・ユニバーシティ（SMU）は、都市などの社会課題解決のためのソリューションの創出で5年間の包括共同研究契約。（12面）

インドネシア - 工業団地拡張  
地方でも日系企業の受け皿整備

インドネシアで、工業団地の新設・拡張が相次いでいる。人口2億4000万人の内需が魅力となり、自動車を中心に日系企業の進出が増えている。東ジャワ州や中ジャワ州といった地方でも。（24面）



渋滞が深刻化するジャカルタ

10月21日（火）

インドネシア - 輸出拠点に  
新大統領にジョコ・ウィドド氏

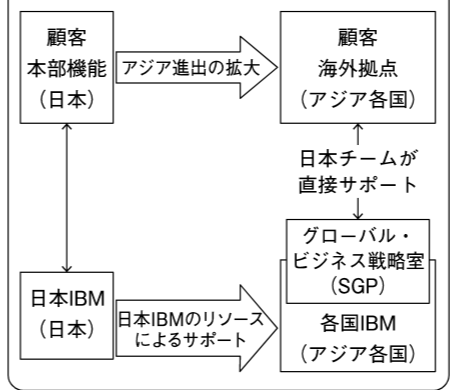
インドネシアで、新大統領にジョコ・ウィドド氏が就任した。課題とされるのが輸出産業の育成。新政権の下、東南アジアの輸出拠点に飛躍できるが注目される。（深瀬断面＝28面）

NTTレゾ、健康管理事業  
東南ア / 糖尿病治療履歴で実証

NTTレゾナントは、ITを活用した健康管理サービスを東南アジアで展開する。年内にシンガポールで糖尿病患者や医療従事者が治療履歴を共有する仕組みの実証実験を始める。（1面）

フィリピンで自動車用シャフト  
中山精工 / 年産60万台

中山精工は、フィリピンで自動車用シャフトの生産を12月に始める。MC11台を新規導入する。年産能力60万台。生産品は日系自動車部品メーカー向けにタイへ輸出する。（5面）



日本IBM、東南ア進出支援  
シンガポール・タイに拠点

日本IBMは、シンガポールとタイに開設した現地サポート拠点を軸に、ASEANへの進出や事業拡大を図る日系企業の支援を本格化。日本からの出張をベースに10カ国をカバー。（11面）

味の素、韓国に新工場  
バイオ医薬品向け培地

味の素は、韓国の仁川広域市にバイオ医薬品製造に用いる培地の新工場を完成、本格稼働した。韓国の場合はバイオ後発薬の開発投資に積極的な状況で、さらに拡大が期待できる。（15面）

持田製薬、バイオ後続品開発権  
韓国LGLSと契約

持田製薬は、韓国LGライフサイエンスとの間で自己免疫疾患治療薬「アダリムマブ（一般名）」のバイオ後続品に関する契約を締結した。持田は日本で独占的に開発・販売する権利を取得。（15面）

ヤンゴンで漏水・盗水対策  
東京都 / 水道管の修繕も

東京都は、東京水道サービスとジャバコンソーシアムが、マンマーマン・ヤンゴン市と無収水対策事業で契約した。漏水や盗水などの料金収入にならない無収水の調査、水道管の修繕など。（26面）

10月22日（水）

三菱日立P.S.、大型ボイラ2基  
インド国営火力発電公社 / 約328億円

三菱日立パワーシステムズは、インド国営火力発電公社から大型ボイラ2基を受注した。188億5000万ルピー（約328億円）。タング超臨界圧石炭火力発電所向けに納める。（3面）

高島屋、タイに出店  
大型複合施設 / 2017年

高島屋は、タイに進出する。2017年にバンコクのチャオプラヤー川西岸に完成予定の大型複合施設「アイコンサイアム」に百貨店を出店する。上海などに続き5カ国・地域目。（3面）

三菱重工、シンガポール増員  
ゴミ焼却施設 / 東南ア本格展開

三菱重工業は、ゴミ焼却施設事業でシンガポールの営業拠点を2015年度初頭をめどに増員する。新設が見込める東南アジア各国での営業体制を本格化する。大都市で引き合いが来ている。（7面）

東南ア・中東で飲料事業拡大  
ポッカサッポロ

ポッカサッポロフード&ビバレッジは、東南アジアや中東の飲料事業拡大を加速する。シンガポールに続きマレーシア工場が稼働。シンガポールやドバイなど中東にも供給する。（13面）

10月23日（木）

三菱重工、ベトナム新工場稼働  
B777乗降扉

三菱重工業は、生産子会社がベトナムのハノイに建設していた航空機部品の新工場が完成し、生産を始めた。B777乗降扉の構造組み立て。名古屋から生産を移管する。（3面）

企業向けポイント制報奨で提携  
伊藤忠などとインドネシア財閥

伊藤忠商事とベネフィット・ワンは、インドネシアで企業向けポイント制報奨制度サービス事業を展開する現地法人が、現地財閥のミッド・ブラザホールディングスと資本提携する。（3面）

ソフトバンク、アジア強化  
インドネシアEC事業者に出資

ソフトバンクは、ファンドの米セコピア・キャピタルなどと、インドネシアの電子商取引事業者のトコペディアに総額1億ドル（約107億円）出資。アジアでのインターネット事業を強化。（8面）

イチゴ栽培、ITで遠隔指導  
NECソリューションイノベータ

NECソリューションイノベータは、遠隔地からの農業指導を可能にする圃場管理システムを開発し、イチゴのハウス栽培ノウハウを日本からインドに展開するプロ向けに納入した。（9面）



国境を越え高品質で低農薬な農作物の栽培を支援（NECソリューションイノベータ）

印に住設ショールーム  
パナソニック（13日9面）

広島 バンコクにチャーター便  
日本旅行業協会中四国支部（13日14面）

J.S.R.、韓国・半導体材料を分社  
PERIと合併設立（21日17面）

東し、そう痒症改善剤で契約  
台湾製薬会社にライセンス（23日13面）

台湾の大手金融・中国信託と提携  
三井住友信託銀行（24日17面）

ひと  
疑い持たず素直に技術移転

ベトナムで初の自社展示会を開いたIH.I。日越友好のシンボル・斜張橋を建設するなどインフラ整備に貢献。「疑いを持たず素直に技術移転を進めていく」と社長の斎藤保さん。衛星を打ち上げる時は、ぜひイブシロンを使ってもらいたい」と売り込みも忘れないう。（17日＝7面）

現場の指導者が育つ  
「鋳造に関心を持ってもらえた」と日光金属社長の佐藤英俊さん。カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムの政府関係者らが片岡工場を見学。カンボジア工場では人材育成に力。「素直でやる気がある人が多い。3年後には現場を指導できる人が育つだろう」。（24日＝23面）